

高経大生が栃木・佐野市に

## 学校跡地の利活用案

地域課題の解決につ

上で、発表に臨んだ。

いて学ぼうと、高崎経  
済大の学生が栃木県の  
佐野市役所を訪れ、飯  
塚久副市長や市職員  
に、昨年度廃校になっ  
た旧三好小学校の利活  
用について提案した。

地域政策学部の岩崎  
忠教授のゼミで地方自  
治を学ぶ3年生10人が  
訪問。学生は跡地を市  
の「小さな拠点」とし  
て活用しようと、公共  
施設の再編や廃校活用  
の現状を学んだり、地  
域住民に周辺環境のア  
ンケートをしたりした

学生はそれぞれ、高  
齢者の未病対策のため  
の運動施設や幅広い年  
齢の人が集まって交流  
できる給食カフェ、コ  
ワーキングスペースや

オフィスと複合した宿  
泊施設などを提案し  
た。市の担当者からは  
「実現性が高い提案で、  
他の跡地利用にも考え  
を反映させたい」と評  
価した。岩崎教授は「地  
域の中で学ぶ貴重な機  
会になった」と話して  
いた。

同大はゼミ生が同市



発表する高崎経済大生ら

役所でインターンシッ  
プを経験したことが縁  
となり、昨年度から同  
市と連携事業を実施し  
ている。